



2019年9月11日
みその都市デザイン協議会

アジア屈指のサッカー専用スタジアム「埼玉スタ」を有する さいたま市美園地区
「シャトルバス優先走行化」取組定常化を見据え第3回実験を10月実施
 世界に誇れる“スタジアムタウン”の実現に向けた『スタジアムアクセス戦略』の推進

みその都市デザイン協議会（埼玉県さいたま市、会長：久保田尚埼玉大学大学院教授）では、2018年3月策定の『美園スタジアムタウン：スタジアムアクセス戦略』に基づく取り組みの一環として、埼玉スタジアム 2002でのサッカー開催日における公共交通を中心とした交通手段への転換促進を目指し「シャトルバス優先走行化プロジェクト」を進めています。

この度、その第1回（昨年9月）・第2回（今年3月）の交通社会実験を踏まえ、前2回の交通規制・誘導内容等を精査し、取組定常化を見据えた第3回実験を2019年10月6日に実施いたします。

さいたま市の“副都心”の1つに位置づけられる「美園地区」では、埼玉高速鉄道線「浦和美園駅」を中心に、埼玉スタジアム 2002（以下、埼玉スタ）も囲みながら大規模な都市開発が進行中ですが、開発進捗に伴う地区内交通量の増加により、埼玉スタ来訪者動線と地域の生活動線との混在・輻輳が進んできています。そこで、みその都市デザイン協議会ⁱ（以下、協議会）では、地域の居住環境や事業活動等と両立した、安心・安全で円滑かつ快適なスタジアムアクセス環境づくりに向けて、2018年3月に『美園スタジアムタウン：スタジアムアクセス戦略』ⁱⁱを策定・公表し、同戦略に基づくプロジェクトの企画・実践に取り組んでいます。

その一環として協議会では、公共交通を中心とした交通手段への転換促進を目指し、サッカー開催後の埼玉スタ周辺渋滞悪化に伴い利便性低下の進むシャトルバスⁱⁱⁱの所要時間改善を目的に、2018年9月30日・2019年3月30日と過去2回のシャトルバス優先走行化交通社会実験を実施してきました。

この度、その第3回交通社会実験を、2019年10月6日（日）に埼玉スタで開催されるJ1リーグ第28節（浦和レッズ対清水エスパルス）に合わせて実施いたします。本実験は、これまでの実験結果分析を踏まえながら、交通規制箇所や案内誘導等の精度向上を図り実施するものですが、本実験の結果分析も含め、今後取組定常化に向けた企画調整を進めてまいります。

協議会では引き続き、公共交通の利便性向上、歩行環境・自転車走行環境の充実化を図る等、地区内の交通負荷分散に向けた施策を多角的に推進してまいります。地域関係者やサッカー観戦者等のご理解・ご協力を得ながら、サッカー開催日はもとより日常においても、サッカー・スポーツの感動や喜びを誰もが共有し、安心して快適な都市環境を次世代に伝える、世界に誇れる“スタジアムタウン”の実現を加速化させてまいります。



▲埼玉スタ周辺の交通渋滞の様子（2016年10月）



▲第1回交通社会実験の様子（2018年9月）



▲第2回交通社会実験の様子（2019年3月）

10月6日 シャトルバス優先走行化 第3回交通社会実験 <実施概要>

■目的 交通渋滞の直接的原因となっている自家用車から、公共交通を中心とした交通手段への転換（モーダルシフト）を目指し、シャトルバスの所要時間改善に向けた優先走行化の交通社会実験等を行う。

■実施日時 2019年10月6日(日) 19:00頃～20:00頃

※2019 明治安田生命 J1 リーグ第28節 浦和レッズ vs 清水エスパルス (17:00 kick off) の試合終了後

■実験概要 (予定)



▼シャトルバス優先走行化 交通社会実験概要 (詳細は別紙チラシ等を参照)

バス優先レーン	交差点(A)～(C)間において、カラーコーン・交通誘導員の配置等により一般車両を第1車線（沿道側）に誘導し、第2車線（中央分離帯側）をバス等優先レーン化。 ※優先レーン設置に伴い、一般車両は交差点(C)において埼玉方面からの右折不可。
交通規制	バス走行の円滑化のため、交差点(A)および交差点(D)にて一般車両の右折制限を実施。
歩行者等誘導	交差点(C)における車両誘導を円滑化するため、浦和岩槻線を埼玉方面からイオンモール等南方面へ向かう歩行者・自転車について、同路線西側（埼玉側）歩道への通行誘導を実施。

■効果測定調査概要

▶交通量調査： シャトルバス（所要時間）、自動車（渋滞長等）

■実施体制

▶主催： みその都市デザイン協議会

▶運営： 浦和レッドダイヤモンド(株)、国際興業(株)、東武バスセントラル(株)、朝日自動車(株)、(株)SPD セキュリ A、埼玉スタジアム 2002 公園管理事務所、埼玉県浦和東警察署、(一社)美園タウンマネジメント、さいたま市浦和東部まちづくり事務所

▶協力： 埼玉高速鉄道(株)、イオンリテール(株)、埼玉県公園スタジアム課

※その他、交通社会実験に係る最新情報については、アーバンデザインセンターみその[UDCMi]公式 Web サイト内の実験案内ページ（右記 QR コード）をご参照ください。



▲実験最新情報 (UDCMi 公式サイト内)

- i **みその都市デザイン協議会について：** さいたま市美園地区の個性と魅力ある都市空間・都市環境の実現に向けて2016年3月に設立（事務局：(一社)美園タウンマネジメント・さいたま市浦和東部まちづくり事務所）。地元組織・行政・立地企業・大学など“公民+学”の各主体が参画し（17団体：2019年8月時点）、まちづくり拠点施設「アーバンデザインセンターみその（略称：UDCMi）」を協働・発信の場として、主にまちづくりに係るハード面の検討・協議・調整に取り組む。
- ii **美園スタジアムタウン スタジアムアクセス戦略について：** 2017年4月策定の『美園スタジアムタウン憲章』・『みその都市デザイン方針』に即して、交通渋滞の直接的原因となっている自家用車から、公共交通を中心とした交通手段への転換（モーダルシフト）等を目指し、2018年3月に策定・公表（策定主体：みその都市デザイン協議会）。「世界に誇れる“スタジアムタウン”にふさわしいアクセス環境をつくる」を大目標に、交通手段別にKGI（達成目標）・KPI（成果指標）を設定し、その実現に向けた戦略・プロジェクト等を取りまとめている。
- iii **試合終了後のシャトルバスについて：** サッカー開催日には試合終了後、埼玉から主に浦和駅・東浦和駅・北越谷駅に向かうシャトルバスが運行。（2019年8月時点）

《この件についてのお問い合わせ先》

一般社団法人美園タウンマネジメント（担当：岡本）
Phone. 048-812-0301 E-mail. info@misono-tm.org